



桃一通信

No. 610



桃井第一小学校
(3390) 3178 (代)

平成29年 11月号



霜月と

校長 内田 裕司

立ち止まり 見てをわたらむ もみぢ葉は
雨と降るとも 水はまさらじ
(凡河内躬恒)

立ち止まり、ゆっくり見てから渡ろう、紅葉の葉は雨のように降っても川の水は増さないだろう、急ぐこともあるまい。

いつもの話を。「霜月」の語源としては下のような説があるそうです。「霜月」は文字通り霜が降る月の意味だそうです。他に、「食物月（おしものづき）」の略であるとする説や、「凋む月（しほむつき）」「末つ月（すえつつき）」が訛ったものとする説もあるようです。

晩秋となり、さわやかさ、涼しさから、寒さを時折感じさせる季節になりました。

先月の真夏日を思わせる日があったり、真冬を思わせる日があったりと、四季の移り変わりが例年と違うような日々がありました。近年、特にこの感じがします。

日本の素晴らしいことは、四季の自然を味わえることです。そこから、旬の食べ物があり、衣替えがありと、自然を愛する日本の文化が育ってきたのでしょうか。

今後もこの良さが続くことを願いたいものです。

文化といえば、今の身の回りのものや制度は大陸から伝わったものが多く占めています。特に遣唐使がもたらした大陸文化は、日本の発展に大きく貢献しました。

歴史で学ぶ遣唐使。717年に阿部仲麻呂ら「養老遣唐使」が派遣されてから今年で1300年です。

仲麻呂は、長く帰国が許されず、753年に帰国が許され、長江のほとりで送別の宴が開かれました。ここで詠んだとされる、「天の原 ふりさけ見れば 春日なる 三笠の山に出でし 月かも」は、あまりにも有名です。

しかし、仲麻呂の乗った船だけが、暴風雨に巻き込まれ、帰国を果たせませんでした。遣唐使はそれからも100年以上唐の文化や制度を伝えてきました。しかし、唐の衰えや商人の貿易が盛んになったので、894年に廃止になったそうです。

廃止提案したのが菅原道真だったそうです。興味深いですね。

奈良の平城京には遣唐使船が展示されており、この大きさで100人近くの人々と、多くの品を運んだと思うとその当時の人々の勇気と覚悟を感じられます。

先月は、スポーツの秋らしく色々な話題がありました。

さて、校内長縄グランプリを終え、秋はスポーツから芸術へと衣替えです。

晩秋の大きな行事「桃一劇場142」が行われます。子供たちの表現力を味わい、深まりゆく秋を、「桃一劇場142」という場で感じてみては如何でしょうか。心行くまで秋を満喫してください。

秋の日、霜月と

学校ニュース

- ・はたらく消防の写生会の絵で2年生の児童が表彰されました。
- ・平和のためのポスターコンクールで5,6年生の児童が表彰されました。

11月の生活目標「物を大切にしよう」

生活指導部だより

記名のない落とし物が毎日のように集まっています。教室では、鉛筆や消しゴム、ハンカチやティッシュなど、学習や生活を送るのに必要なものばかりです。似たようなものをみんなが持っていて、結局誰の物だか分からずに、持ち主に返すことができないまま処分されてしまいます。中には、洋服や上着のような落とし物もあります。子供たち一人一人が大切に扱うことはもちろんですが、うっかり落とした時に持ち主に戻すことができるよう、学校に持たせる際には必ず記名をお願いします。

物を大切にするということは、感謝する心や、物事に対して丁寧に取り組む態度を育むことにも繋がります。自分の物も、友達の物も、みんなで使う物も同じように大切にできるよう、学校でも力を入れて指導してまいります。是非、ご家庭でも話題にしていただき、物をきちんと最後まで使い切ることができるよう、記名などご協力お願ひいたします。



情熱で 勝利をつかめ！42 モモリンピック142

9月のモモリンピックでは、保護者・地域の皆様に多数ご来校いただきましてありがとうございました。土曜日は天候不順のため日曜日に延期となりましたが、子供たちのために大きなご声援をいただき本当にありがとうございました。

今年度も、赤組、黄色組、白組、青組の4色での実施となりました。それぞれの色が応援団を中心個性を出し、心を一つに優勝を目指しました。結果は、優勝 青組、準優勝 黄色組、敢闘賞 白組、赤組となりました。各学年、各色、精一杯練習に取り組み、一回り大きく成長したように思います。

本番まで、保護者・地域の皆様にはたくさんのご協力とご理解をいただき、本当にありがとうございました。

後期委員会紹介

10月2日から後期委員会が始まりました。6年生にとっては小学校生活最後の委員会になります。それぞれの委員会の委員長に抱負を聞きました。

代表	理科環境	放送
代表委員会はあいさつ運動・行事の進行をしています。委員一同がんばります！！	学校のみんなが、よりよい環境で過ごすために、5・6年が協力して頑張っていきます。	放送委員会では、朝・昼・放課後に全校に向けて放送を行っています。聞いてください。
器楽	図書	飼育
みなさんが歌いやすいように、きれいな音色をせいいっぱい演奏しています。	みんなが読書は楽しいと思い、もっと読書に親しんでもらえるようにします。	飼育委員会ではうさぎや金魚が大きくなるよう愛情をこめて世話を頑張っていきます。
集会	保健	運動整備
全校児童だけでなく、集会委員も楽しめるような委員会活動になるようがんばります。	保健委員会では、みんなの健康を支えます。みんなが健康でいられるよう頑張ります！	みんなが楽しく運動して、笑顔が見られるようにがんばります。
新聞	給食	美化
新聞委員会では主に、皆さんのかなにアンケートをし、調べたことを書いて掲示します。	完食賞の配布と栄養黒板の記入を行っています。皆をまとめられるように頑張ります。	学校をいつもきれいにできるよう新しいほうきに変えるなどしています。がんばります。

専科の授業紹介

音 楽

音楽では、まず子どもたちが「音」を「楽」しむところから入り、徐々に美しい声や音色に気付き、表現できるように進めています。



今、4年生は発声や二部合唱、「茶色の小びん」の合奏に、5年生は連合音楽会に向けて二部合唱「おやすみー森の夜」「いまだよ」の練習に、6年生は「オペラ座の怪人」メインテーマの演奏に取り組んでいます。楽しみながら、聴き合い協力しあって、よりよいものを作っていくように、と願っています。

毎年、音楽朝会で6年生が合唱を発表しています。

図画工作

図工の絵の学習ではクレヨンで描いた線を指でぼかしたり、ブラシで絵の具をはじいたり、スポンジに絵の具をつけて着色したりと様々な表現方法を体験しています。子どもたちの表現の幅を広げていくことも図工では大事なことです。思わぬ効果に驚きの声をあげながらどの学年も作品製作を楽しんでいます。

理 科

子どもたちが、自然の事象（こと・もの・できごと）に「なんだろう？」「なぜだろう？」という疑問から、自分なりの考えをもち、観察したり、実験方法を考えて実際に実験したりしています。

実際に実験・観察を通して体験することで、より理解が深まり、自分なりの考察が出てきます。また、実験できない場合でも動画を通して、変化のようすを見て感じ取っていくことで学びを深めていきます。一人一人の結果の違い、予想と結果の違いを大切にして、なぜ違ったのか、友達と意見を出し合いながら考察していきます。そして、学んだことを生活に結び付けられるような授業を目指していきます。

少人数

桃一小の少人数算数は、3～6年生で習熟度別にクラス編成を行っています。3・4年生は飯島和大、5・6年生は高田尚子が担当です。プレテストの結果を基に、じっくり・しっかりとぐんぐんの3つのコースを設け、学習の習熟に取り組んでいます。

電子黒板の活用による「視覚的な理解」(ICT活用)と、実物を触れたり、器具を使ったりすることでの「体験的な理解」(生活と関わる算数)を増やせるよう教材を用意しています。担任と協力し、桃一小の子どもたちが自ら考え、解決する力を高めていけるよう努めています。

養護

保健室では、身長・体重計測の時、からだの仕組みや健康な生活に関する指導をおこなっています。また、けがや体調不良で来室する子どもには、けがの予防や手当についてお話をしたり、普段の生活を一緒に振り返ったりします。「みんなの体はこんなに素晴らしいよ！」という思いと、「自分の体に目を向けて大切にもらいたい」と願いを伝えていきたいなと思います。そして、子どもたちが本来もっている「自然治癒力」や、日々の様々な課題を「乗り越える力」が發揮できるよう、いつも応援しています。